

## 在宅医療を必要とする小児等への医療を実施できる人材の育成について

## 平成 29 年度千葉県小児等在宅医療連携拠点事業（案）

- ・相談支援専門員研修〔継続〕
- ・訪問看護師育成研修〔継続〕
- ・訪問看護師育成研修（（仮）新生児科からの在宅移行支援研修）【新規】

目 的：千葉県内周産期新生児科所属看護師が、在宅移行期において福祉の視点を有し退院支援及び訪問看護を実施できるよう新生児科等からの在宅移行に特化した研修を実施することにより、NICU等に入院している障害児の在宅生活への円滑な移行を支援する。

研修概要：6 日間の研修を年 2 回実施

## 【新規事業の背景】

## 「千葉県周産期医療体制整備計画」一部改定（平成 28 年 4 月）

改定後の計画の主な内容（周産期医療体制の整備方針）

## (1) 周産期母子医療センターの整備

## ○総合周産期母子医療センター

指定を受けていない全県対応型周産期医療連携拠点病院について、指定の検討を行います。

## ○地域周産期母子医療センター

未整備の二次医療圏について、出生数に応じて、更なる認定施設の設置を検討します。

○平成 27 年 7 月 1 日現在 129 床ある NICU が 141 床となるように努めます。

## (2) 周産期医療連携体制の整備

妊婦が産科以外の急性疾患を発症した場合に、適切な対応ができるよう、周産期母子医療センター等と救命救急センターとの連携を図ります。

妊婦の円滑な搬送体制を確保するとともに、新生児の搬送体制の整備について検討します。

## (3) 周産期医療従事者の確保

周産期医療に携わる医療従事者の人材確保、養成、資質向上等に向けた事業を推進します。

## (4) その他

妊婦や胎児の健康状態の確認や疾病の早期発見など、妊婦健康診査の重要性について啓発します。

NICU 長期入院児の支援について、専門の検討会を設置し、在宅医療の体制づくりなどの必要な対応を検討します。